

目標達成計画

作成日: 令和 2年 6月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

適切に					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	外5	身体拘束等の適正化のためのマニュアル等が整備できていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム独自の指針を作成し、マニュアルを整備する。 ・ミーティングで話し合い、職員間の周知と共有を図り、引き続き身体拘束のないケアを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指針の作成。 ・ユニットミーティングで話し合い、意見交換をする。 ・会議の内容の記録を回覧、全員周知し実践につなげる。 	早急に
2	外13	非常災害時の備蓄品が十分に揃っていない。夜間想定や地震・風水害を想定した訓練が不十分である。	<ul style="list-style-type: none"> ・系列施設に協力を仰ぎ最低3日分の食料を確保する。 ・あらゆる想定の実施し、職員全員が避難方法を身につけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・系列施設の栄養士と相談し水や非常用の食料品など適切な物を必要分揃える。 ・ホームに置ききれない備蓄品を系列施設に相談し保管場所を確保する。 ・年2回の避難訓練(5月11月)とあと最低2回の夜間想定及び地震・風水害想定の実施する。 	12ヶ月
3	外18	外出支援ができておらず、家族からも外出の機会を増やして欲しいとの要望がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとの外出・日々の外出・地域の店での外食会の機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シフトを調整し人員の配置を工夫して時間を作る。 ・外出デーを作る。 ・ご利用者及び家族に外出に関するアンケートをとる。 ・レクレーション委員と相談し、月及び年間の外出支援スケジュールを作成する。 	12ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。